

## 文献紹介

本書の基になった著者の論文・記事は以下のとおりである。  
はじめに

- \* 「イラン」店先で話術を磨け―楽しい買い物術」（鳥居高編『発展途上国の市場とくらし』明石書店、一九九七年三月）一六三―一六九頁。
  - \* 「イラン」ターロフの効用」（特集「ことば」とくらし―多言語化する世界に生きるひとびと）（『アジア研ワールド・トレンド』第四二号、一九九九年一―二月）四三―四四頁。
- ### 第1章
- \* 「トレンド・リポート もうひとつのペルシア湾―イラン南部『自由貿易・工業地域』のいま」（『アジア研ワールド・トレンド』第一五号、一九九六年八月）四一―四二頁。
  - \* 「イラン経済の現局面『新時代』を探る」（『現代の中東』第二四号、一九九八年三月）一七―一九頁。
  - \* 「イラン」ペルシャ商人の生き残り戦術」（特集「商人の巡る世界―国民経済の中の国際商業」）（『アジア研ワールド・トレンド』第三六号、一九九八年七月）一八―二〇頁。
  - \* 「イラン経済自由化プログラムの検証―文献解題を中心に」（『現代の中東』第三三三号、二〇〇二年七月）九五―一〇八頁。

## 第2章

\* 「イラン繊維産業概観―一九世紀初頭からイスラム革命までの歴史的発展」(『現代の中東』第一五号、一九九三年九月) 六一―七五頁。

\* 「イラン繊維産業における仲介業者ナマールヤンデの役割」(『アジア経済』第三八卷第二号、一九九七年二月) 二一―一八頁。

## 第3章

\* 「現代イラン流通考 市場と商人」(『現代の中東』第三〇号、二〇〇一年一月) 五八―七〇頁。

\* 「トレンド・レポート 拡散する都心―テヘランの風景」(『アジア研ワールド・トレンド』第七六号、二〇〇二年一月) 四九―五〇頁。

## 第4章

\* 「イラン―信条は独立独歩」(特集「アジアの中小企業に生きるひとびと」)(『アジア研ワールド・トレンド』第五二号、一九九九年二月) 一七―一八頁。

\* 「イランの生産組織と流通機構―テヘラン・アパレル産業の事例」(原隆一・岩崎葉子編『イラン国民経済のダイナミズム』アジア経済研究所、二〇〇〇年) 九三―一二九頁。

## 第5章

\* 「テヘランのアパレル卸売市場―ボナクダールの競り人機能」(『アジア経済』第四三卷第二号、二〇〇二年二月) 二一―二五頁。

本書執筆にあたっては、以下の文献を参考にした。

\* 徳増克己「イランとソ連の狭間で―アゼルバイジャン国民政府の一年―」(『岩波講座世界歴史二四 解放の光と影 一九三〇年代―四〇年代』岩波書店、一九九八年) 二〇七―二二八頁。

\* マスード・カールシェナース「革命以降のイランにおける石油と経済発展」(原隆一・岩崎葉子編『イラン国民経済のダイナミズム』アジア経済研究所、二〇〇〇年) 四一―九二頁。

